

第三回句会より

床マツト腕脚のぼす秋の雲
政子

草刈り機一輪残す百合の花
高久

Ⓔ 退院の父の畑の大南瓜
玲子

手花火の炎に揺らぐ孫の顔
敏子

盆踊り孫の額に光る汗
敏治

球宴や球児酷暑を打ち飛ばす
希大

Ⓕ 盆踊り目と目を合わせ教わりし
敏子

蛸やデマンドバスの吾子遠のく
玲子

三回忌読経続くや蟬時雨
高久

貴船木と水と社も川床料理
信子

庭の実にヒヨドリ群れて朝明ける
敏治

ゆく夏を惜しむ川面や火ぶり漁
高久

幼児がギュッと手握る揚げ花火
敏子

女郎花船棹ひとりで操れり
洋子

盆踊り見よう見真似でさまになり
希大

子等のくつ整列しており夏法堂
節子

長らえて土曜うなぎの夕餉かな
希大

擦り傷のテープ剥がれて秋暑し
玲子

眠れぬ夜かすかにきこえる虫の声
信子

Ⓖ 受験子の机の上の夏うちわ
節子

向日葵は種の重きに地を見つめ
政子